



猫用 肝臓サポートは、胆管肝炎などの肝疾患の猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、とくに消化性の高いタンパク質を適切な量に調整しています。また銅の含有量を制限^{*1}し、十分なカロリーを摂取できるように高エネルギー密度^{*2}に調整しています。

この食事療法食の対象



- **胆管炎** ● **胆汁うっ滞** ● **三臓器炎**
猫の肝炎・胆管炎では、胆汁中に排泄される銅を触媒としてフリーラジカルが発生しやすくなり、このフリーラジカルが胆管に炎症を起こす原因のひとつと考えられます。そのため銅の摂取量を制限するとともに、抗活性酸素物質を十分に摂取することが推奨されます。
- **門脈-体循環シャント** ● **肝性脳症**
肝性脳症は慢性的な肝疾患や門脈-体循環シャントなどによって血中に有害な物質が蓄積することによって起こります。主な原因はアンモニアなどのタンパク質の分解生成物と考えられており、食事の中のタンパク質の量を適切な量に調整することが推奨されます。
また、消化管内に残存する未消化のタンパク質を腸内細菌が分解することによってもアンモニアが生成されるため、高消化性のタンパク質を使用した、少ない食事量でも必要なカロリーを摂取できる高エネルギー密度の食事が推奨されます。

- **銅蓄積性肝疾患**
銅の含有量を制限^{*1}するとともに、亜鉛を調整することによって銅の吸収を抑制しています。
※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

使用が推奨されない病態等

- **妊娠/授乳期、成長期**
タンパク質、リン、銅などが不足するため推奨されません。
- **高脂血症**
高脂肪食は推奨されません

原材料

米、動物性油脂、コーン、超高消化性小麦タンパク(消化率99%)、超高消化性豚タンパク(消化率95%)、コーングルテン、食物繊維、加水分解動物性タンパク、チコリー、魚油、大豆油、フラクトオリゴ糖、酵母エキス(マンノオリゴ糖含有)マリーゴールドエキス(ルテイン源)、アミノ酸類(DL-メチオニン、L-アルギニン、L-リジン、タウリン、L-カルニチン)、ミネラル類(K、Ca、Cl、P、Zn、Fe、Mn、I、Se)、ビタミン類(コリン、E、C、ナイアシン、B₂、パントテン酸カルシウム、B₁、B₆、A、葉酸、ビオチン、B₁₂、D₃、K₃)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル)

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

成分	単位/400kcal
タンパク質	24.7g ↓
脂肪	20.9g ↑
食物繊維	10.5g
灰分	6.6g
水分	5.2g
炭水化物	32.9g
カルシウム	0.6g
カリウム	0.76g
リン	0.56g ↓
マグネシウム	0.05g ↓
鉄	23.50mg
銅 ^{*1}	0.48mg ↓
亜鉛	23.78mg
ナトリウム	0.29g ↓
EPA+DHA	333mg ↑
L-カルニチン	28.5mg
タウリン	0.20g ↑
アルギニン	1.60g ↑
ビタミンE	57.1mg ↑
ビタミンC	19.02mg ↑
ビタミンB群	28.87mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー … 421kcal/100g ↑^{*2}

1日の給与量の目安

1カップ=200cc

成猫の体重 (kg)	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8
標準	40g 0.5カップ	45g 0.5カップ	50g 0.6カップ	60g 0.7カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	80g 1.0カップ	85g 1.0カップ	90g 1.1カップ	100g 1.2カップ	105g 1.3カップ
調整範囲											
最大	45g 0.5カップ	55g 0.7カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	80g 1.0カップ	85g 1.0カップ	95g 1.2カップ	100g 1.2カップ	110g 1.3カップ	120g 1.5カップ	125g 1.5カップ
最小	30g 0.4カップ	35g 0.4カップ	40g 0.5カップ	45g 0.5カップ	50g 0.6カップ	60g 0.7カップ	65g 0.8カップ	70g 0.9カップ	75g 0.9カップ	80g 1.0カップ	85g 1.0カップ

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。



原寸大

追加情報

- 給与期間は肝疾患の原因および肝細胞の再生能力などの違いによってさまざまです。
- 慢性疾患の場合には、生涯にわたる給与が必要となることがあります。
- 食後の肝臓の負担を軽減させるためには、1日の給与量を少量ずつ回数に分けて与えることが推奨されます。

- 肝リビドーシス(肝性脳症を併発していない場合)では、高タンパク質の食事をチュープフィーディングで強制給餌することが推奨されます。これに適した食事としては、「犬・猫用 退院サポート(ウェットタイプ)」があります。
- 三臓器炎で、とくに腸炎が重篤な場合は、腸の炎症に考慮した高消化性で低アレルギーの食事が推奨されます。これに適した食事としては、「猫用 低分子プロテイン(ドライタイプ)」があります。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のバリエーションについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。